

株式会社ネグジット総研と株式会社ソラミチシステムがシステム連携を強化

調剤薬局向けレセプトコンピュータと電子薬歴システムのシームレスな連携を実現
後会計フローに対応し、より効率的な薬局業務を支援

株式会社ネグジット総研（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：美和啓樹、以下「ネグジット総研」）と株式会社ソラミチシステム（本社：東京都新宿区、代表取締役：田浦貴大、以下「ソラミチシステム」）は、ネグジット総研が提供する調剤薬局向けレセプトコンピュータ「調剤くん V8」と、ソラミチシステムが提供する電子薬歴システム「CARADA 電子薬歴 Solamichi」の連携機能を強化し、2026年9月1日より提供を開始することをお知らせします。

今回の連携強化により、調剤薬局における情報共有や業務オペレーションをさらに円滑化し、一体感のあるシステム利用環境を実現します。

●連携概要

1. 患者メモ機能の双方向連携を実現

これまでのレセプトコンピュータから電子薬歴システムへの情報連携に加え、今回新たに電子薬歴システムからレセプトコンピュータへの連携が可能となりました。

患者ごとの注意事項や申し送り事項などの患者メモを双方のシステムで共有できるため、情報の二重入力を削減し、スタッフ間での情報共有を促進します。

2. シームレスな画面遷移による後会計フローへの対応

レセプトコンピュータで処方内容を登録後、電子薬歴システムへスムーズに遷移し服薬指導・薬歴記載を実施。その後、電子薬歴システムからレセプトコンピュータの会計画面へ直接遷移できるようになります。

処方受付から薬歴、そして会計までの流れを効率化し「後会計フロー」の実現を支援します。

●一体感のあるシステム体験を提供

今回の連携強化により、レセプトコンピュータと電子薬歴システムを別製品として利用しながらも、一体型システムに劣らない操作性と連携性を実現しました。

薬局現場における入力負荷の軽減や業務効率化を支援するとともに、患者対応により多くの時間を充てられる環境づくりに貢献します。

●提供開始日

2026 年 9 月 1 日

●今後の展望

今後も調剤薬局の業務効率化と患者サービス向上を支援するため、さらなる機能連携やサービス強化を推進してまいります。